



平成29年度 活動報告

はまなこ環境ネットワーク

平成29年度浜名湖環境学習プログラム実施業務



平成29年度 浜名湖環境カレッジ報告





3

8/5 浜名湖環境カレッジ2017 in 弁天島 (講和、湖上遊覧)



53名参加
講師・スタッフ含む



シラス漁で有名な浜名漁港・外海とつながる今切口・カキ養殖のカキ棚・アマモ場の見学。
浜名大橋・JR東海道線や新幹線の線路の下をくぐる貴重な体験をした。



4

浜名湖環境カレッジ2017 in 弁天島



アサリの養殖事業「アサリのゆりかご」紹介

- 網袋にアサリの幼生のすみかになる砂利を入れ、浅瀬に並べて養殖
- ネットには認識番号がついていてオーナー制になっている
- 地元の幼稚園や小学校の子どもたちも保全活動に参加している

5

浜名湖環境カレッジ2017 in 弁天島



- ネットを張って魚の食害からアサリを守っている場所で、砂を掘りアサリの様子を観察
- ネットを張っていない所も砂を掘ってアサリがいないことを確認!

6

浜名湖環境カレッジ2017 in 弁天島



- 「海のゆりかご」アマモ場には多くの種類のいきものの赤ちゃんが生息
- イカ・ハゼ・シャコ・カニ・カワハギ、ヨウジウオ、とても珍しいタツノオトシゴやイセエビの赤ちゃんなども観察、豊かな浜名湖を実感できた。
- 最後に、いきものを持ち帰って育てるのは難しいため、写真を撮ってリリース。
- アサリの天敵ツメタガイの卵は駆除

浜名湖環境カレッジ2017 in 弁天島

アサリの水槽に「米のとぎ汁」を入れて、アサリの水の浄化機能実験

米のとぎ汁投入直後



投入して2時間経過



浜名湖環境カレッジ2017 in 弁天島



10/21 浜名湖環境カレッジ2017 in 湖西知波田

■ おちばの里親水公園での観察



36名参加
講師・スタッフ含む

親水公園の観察では、クヌギの実拾いを体験した。枝が付いたまま落ちている「どんぐりは「ハイイロチョッキリ」という虫が切り落としたもので、どんぐりの中で成長した幼虫が土の中に入ってサナギになるために枝を切り落としている。



浜名湖環境カレッジ2017 in湖西知波田

■ 荒廃森林再生現場見学



おちばの里親水公園すぐ隣の「アスモの森」で荒廃森林再生の様子を観察しながら、森林や周辺環境について学んだ。アスモ(株)は、地域の環境保全貢献として再生事業に関わっている。

11

浜名湖環境カレッジ2017 in湖西知波田

■ 川の生きもの観察



川のをいきものを捕獲。スタッフに解説してもらい、環境省レッドリスト・絶滅危惧IB類(EN)のホトケドジョウをはじめ、きれいな水にしか生息しないサワガニやヨシノボリ・ヌマエビ・昆虫の幼虫など多くのいきものを観察することができた。



浜名湖環境カレッジ2017 in湖西知波田

■パケットテスト体験



パケットテスト(水質検査)体験では、いきもの観察をした川の水について、COD・亜硝酸・アンモニウムの簡易水質測定を体験した。当日は雨だったので、昨年実施したデータと比較してみた。



浜名湖環境カレッジ2017 in湖西知波田

■スウェーデンストーブのクッキング体験



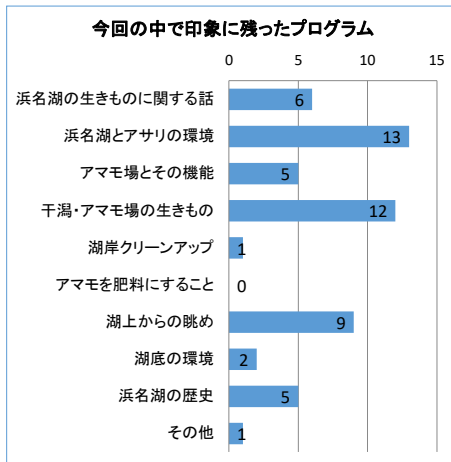
間伐材を使ってスウェーデンストーブでポップコーンやゆで卵を作って食べました。公園で採取した「ドクダミ茶」を体験。

「ソーラークッカー」でのクッキング体験を予定していたが、雨天のため中止。

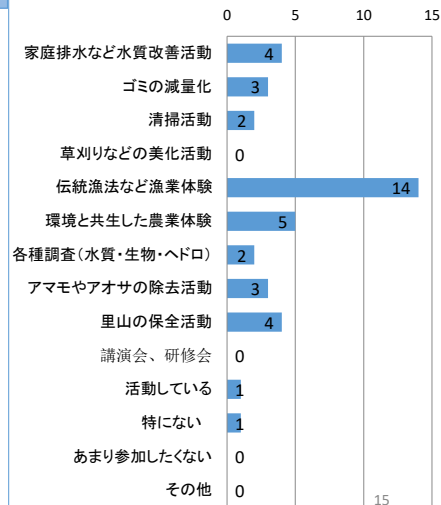


浜名湖環境カレッジ2017 in 弁天島

生きもの観察の環境学習会参加 参加者の60%が初めて

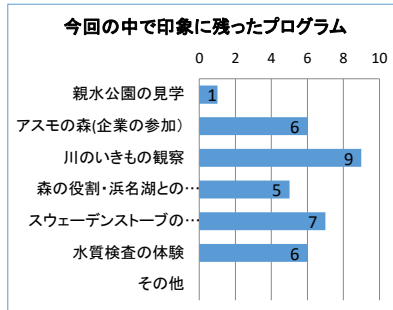


今後の浜名湖の環境に関する活動参加の 意向

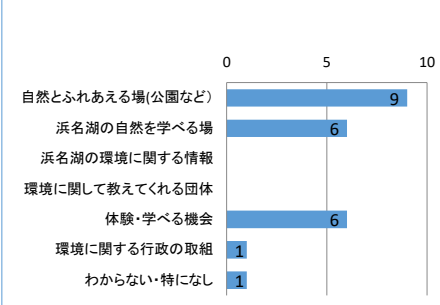


浜名湖環境カレッジ2017 in 湖西知波田 参加者アンケート(抜粋)

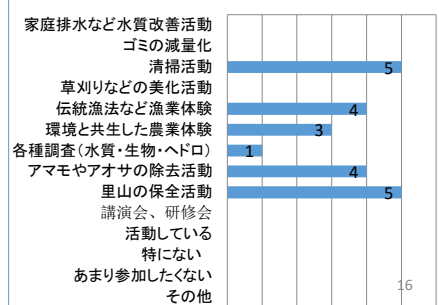
里山の環境学習会の参加 子ども参加は100%が初めて 大人も含めると90%が初めて



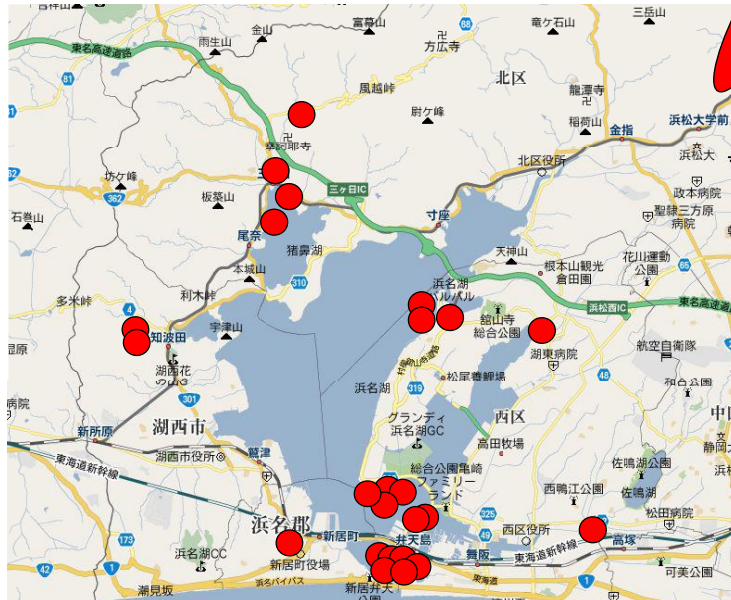
浜名湖の環境学習 不足していると思うも の・こと



今後の浜名湖の環境に関する活動参加意 向



これまでの浜名湖の環境学習の実施場所



17

2/10 はまなこ環境団体交流会2018

- 会場 庄内協働センター
- 参加団体数:22 団体
- 参加者数:31 名

●内容

- (1) はまなこ環境ネットワーク活動報告
- (2) 情報提供
 - ① クラウドファンディング資金調達への紹介
 - ② 市民協働センターの情報発信サポートの紹介
- (3) リレートーク
 - ① 昆虫食倶楽部
 - ② EM倶楽部／湖西
 - ③ 浜松地域資源活用研究会
 - ④ 浜松里山竹クラブ
 - ⑤ NPO 法人エコライフはままつ
 - ⑥ 日本野鳥の会 遠江
 - ⑦ 一般社団法人りんたく遠州
 - ⑧ 浜名漁協弁天島遊船組合



18

2/10 はまなこ環境団体交流会2018



はまなこ環境団体交流会 パネル出展

NPO 法人 児童支援サポートセンター nourish (ナリッシュ)	レンタサイクル「はままつペダル」
はまなこ環境ネットワーク	NPO 法人 地域づくりサポートネット
浜名湖サイクルツーリズム推進会議	浜名湖のリブランド推進協議会



はまなこ環境団体交流会・展示・試食



はまなこ環境団体交流会 意見交換(グループWS)



テーマ:環境教育(啓発・体験学習)

■現状と課題

1. 浜名湖の良さを再認識してもらい取り組みが必要
 - ・浜名湖の資源や可能性を知らない人が多く、もったいない。
 - ・高校生などの若者に対する啓発活動、参加の動機付けが必要。
2. イベントへの集客に苦労している団体が多い一方、「食」「漁業」に関する体験は人気
 - ・募集しても集まらないことが多い。
 - ・「観察」×「食」体験プログラムや「漁業体験」は人気があり、集客力が高い。
3. 自然体験活動のリスクマネジメントと親の理解
 - ・自然の中ではいろいろと経験を積めるが、アウトドアは危険と隣り合わせ。
 - ・自然との遊び方を知らない大人も多く、親にどう理解してもらうかが課題。

■アイデアや可能性

1. 観光・リフレッシュの場として活用

環境は観光にもつながる／楽しんで親しんで／ストレス発散の場／地元の人しか知らない情報を紹介／若者を取り込む／八十八か所巡り／浜名湖一周ウォーキング
2. 教育の機会として活用し、触れる機会・知る機会を創出
 - ・自然に触れる機会をつくり、遊びから学んでもらうことは大切。
 - ・子供たちに生物について知ってもらい、関心を持つきっかけにする。
 - ・就学前の子ども達 → 食べ物のありがたみやモノを大切に作る心が育まれる。

<実施例>

 - ・外来種を知ってもらい取り組みなど、駆除を教育現場で活用。
 - ・工場見学で3Rを知ってもらおう。

23

テーマ:資源の有効活用、資源を活かした観光振興 (守る・賢く使う、農林業や漁業に活かす、地域内循環)

■現状と課題

1. 浜名湖の魅力のPR不足
 - ・広い、きれいで、資源が豊富、アクセスが良いことをもっとPRしたい。
 - ・弁天島で行われている自然観察体験教室や漁業体験など、ここでしかできないことを全国に発信したい。
 - ・三湖サミットの際、食べる水産資源、見所が秀でていたことが分かった。もっとPRを!
 - ・PRを上手に行うことで、関東などの都市圏からも誘客を図れる可能性がある。
 - ・Youtubeを活用しては?
2. 事業者同士の情報交換・連携をどのようにするか
 - ・個々の発信力だけでなく、連携して発信力を高めたい。
 - ・他団体と協力することで、活動の幅を広げたい。
 - ・活動団体が浜名湖のことをよく知ることが必要。知っているからこそ発信できる。
 - ・事業者同士が互いの活動を知らない。情報共有をどのようにするか。
3. 資金調達、新規会員不足・会員の高齢化、人手不足(ボランティア)

■アイデアや可能性

1. 「漁業 × 観光」「船 × 自転車 × 大自然」「山 × 湖」など、コラボレーションによる魅力創出
 - ・表(南) 浜名湖の水上から景色を見ることができる。知られざる魅力を発信していきたい。
 - ・交流会で知り合った諸団体の方々に、船を活用した活動で遊船組合を利用していただきたい。
 - ・浜名湖の大自然が味わえるサイクリング。浜名湖の魅力の発信力不足という課題に、サイクリングで取り組む。
 - ・里山の間伐材が余っているので、活用したい団体に提供できる。→ 間伐材の活用方法が分からない方も多いため、活用事例を教えてもらえると助かる。(スウェーデントーチなどで、インスタ映えも狙える!)
2. 環境資源を農業にも活用し、障害者雇用の創出を目指す

24

今後の課題・提言

■今後の課題・提言

- ・地元の人が浜名湖と関わりを持っていない。
- ・竹の処理や活用方法が無い。
- ・啓発の効果は目に見える形にすることが難しい → 第三者評価をしてもらえないか。
- ・体験プログラムやメニューを情報発信できないか。

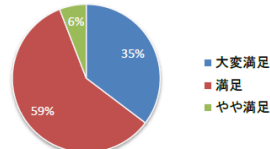
■今後の課題・提言

- ・ARの充実やアニメとのコラボ、海外旅行者などが使いやすい無料Wi-fiの整備を進めては。
- ・子どもや若者が来くなるような地域にしていきたい。
- ・活動PRや交流の場として博物館や体験館があると良い。
→ 浜名湖体験学習施設「ウォット」を活用してはどうか。
- ・里山や海など多様な団体をつなぐコーディネーターが必要。
- ・情報交換の拠点があると良い。

25

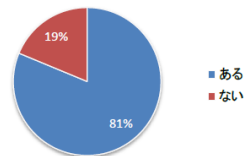
5. イベント全体の満足度

大変満足	6
満足	10
やや満足	1
やや不満	0
不満	0



6. 浜名湖の環境保全活動に関して、他団体と連携してみたいことはありますか？

ある	13
ない	3



7. 交流会の感想やご要望、今後期待することなど

(感想)

- ・連携してイベントが出来るの良いなと感じた。
- ・山×海の新しい切り口は面白いと思った。⇒浜松にしかできない事。
- ・昨年三つの湖のサミットが「九重」ホテルにて開催された。
- ・浜名湖の“見どころ”“良いところ”を世界に発信させる必要があり、今後も一つでも小さいことでも実行していきたいと感じた。

(交流会や今後の展開に関するご意見)

- ・このような交流会が、今後もあれば良い
- ・このような会合を時々開催してほしい
- ・開催回数が増えるといいと思う
- ・もっと意見交換の時間がほしかった
- ・今後のコーディネート(が課題)
- ・定期的に情報交換できる場があると良いと思う。
(フェイスブック上でグループなどがあれば情報共有しやすいかもしれない)

26